

O023-04

会場：303

時間：5月23日 14:35-14:55

## 下仁田地域は日本ジオパーク登録に申請します

金井康行

ジオパーク下仁田協議会

現在、下仁田町は「多様な大地の変動から古代人の足音まで」をテーマとしたジオパークの登録に向けて活動をしています。

下仁田地域は日本列島の地質構造からみると西南日本と東北日本の接点にあたり、日本列島の生いたちを解明する上で重要なカギとなる現象が集中し、古くから地質調査に訪れる人も多く、「日本でも5指に入る貴重な場所」とも言われています。

主なものには、中央構造線にそって九州までつづいている「三波川結晶片岩と秩父中古生層」や日本の地質百選に選定されている跡倉クリップを代表とする「根なし山群」、複雑に入り組み日本列島のつくられた過程を解明するカギと言われる地質構造の「下仁田構造帯」や今から約900万年前に大陥没をおこした「本宿陥没」、厚さ10メートル幅200メートルにもわたる「関東ローム層の大露頭」などがあります。

その多くの地質現象が十数キロメートル以内に密集しており、まとめて観察できる地域は、他にないと思われまます。

また、荒船山や妙義山など不思議な形の山もあり、地質について知識がなくてもジオを体感しながら登山やハイキングをすることもできます。

平成22年4月からは、廃校になった小学校を自然史館としジオパーク推進の拠点とするなど、受け入れ態勢も整備しております。

今まで下仁田町は、研究者や関係者の間では「興味深い・とても面白い」と言われていましたが、今後は、その面白さを一般の人にも伝えるため、「わかりやすい解説・地元住民のガイドの育成・気楽に参加できるイベント」などを行い、町全体で盛り上げてジオパーク登録に向けて活動していきたいと考えています。

また、ジオパークに登録となれば地質学的にも深い関連性のある秩父や下仁田戦争の水戸天狗党の出発地点である茨城県北など、下仁田地域とつながりがあるジオパークが多くあることから、ジオパーク間の中継連携のジオパークとしても活動でき日本ジオパークネットワークにも貢献できると考えています。

下仁田地域の日本ジオパーク登録をお願いいたします。